

登録コード	UAC21500	開講年度	2026			
授業題目	東洋史研究				担当教員	豊岡 康史
					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・1時限	
				授業形態	講義	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学, 2 5 UAカリ・総人社・人間文化学					
	【人間文化学】思想、歴史、社会、情報、言語、芸術など多種多様な側面を持つ人間文化に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する能力を有する。				世界経済と中国経済の関係性を、専門的な知見を元に説明できるようにする。	
	【人間文化学】人間文化に関する文献・資料を収集・調査し分析・考察する人文学の伝統的な手法を身につけるとともに、他の学問分野の解析手法を併せて修得することによって、複雑多様化する現代社会の課題に柔軟な対応ができる応用力を有する。				世界経済と中国経済の関係性を、専門的な知見を元に説明できるようにする。	
	【人間文化学】高度な言語運用能力とコミュニケーション能力を基盤として、多領域のステークホルダーと協働し、現代社会の課題に取り組みながら、独創的かつ多文化共生的な英知の創成と提案を行う力を有する。				世界経済と中国経済の関係性を、専門的な知見を元に説明できるようにする。	
(2)授業の概要	タグリャコッツォ他編『循環する華人、資本、商品』（2011）、村上衛『海の近代中国』（2013）、李伯重『銃と帳簿』（2017）などの、中国と東南アジア、あるいは世界経済との関係についての研究の内容を、受講生で分担して検討し、その上でそれぞれの研究の研究史上における位置づけを確認し、受講生自身の研究テーマとの比較・連関についてプレゼンテーションを行う。					
(3)授業計画	第1回：ガイダンス 世界経済と中国経済の連関史概論 第2回：タグリャコッツォ他編『循環する華人、資本、商品』（2011）の検討（1）：理論的検討・アヘン・銅 銭・棉花と植民地時代以前の中国・東南アジア 第3回：タグリャコッツォ他編『循環する華人、資本、商品』（2011）の検討（2）：植民地時期前期の中国・東南アジアとジャンク船貿易 第4回：タグリャコッツォ他編『循環する華人、資本、商品』（2011）の検討（3）：米穀貿易と植民地時期後 期の中国・東南アジア 第5回：タグリャコッツォ他編『循環する華人、資本、商品』（2011）の検討（4）：ポストコロニアル経済の 展開 第6回：村上衛『海の近代中国』（2013）の検討（1）：清朝の沿海秩序の崩壊 第7回：村上衛『海の近代中国』（2013）の検討（2）：華南沿海秩序の再編 第8回：村上衛『海の近代中国』（2013）の検討（3）：貿易の変動と華人の行動 第9回：村上衛『海の近代中国』（2013）の検討（4）：アジア間貿易の勝者と敗者 第10回：李伯重『銃と帳簿』（2017）の検討（1）：15-17世紀の「経済の早期グローバル化」 第11回：李伯重『銃と帳簿』（2017）の検討（2）：入り乱れる火器と宗教 第12回：李伯重『銃と帳簿』（2017）の検討（3）：近世東アジアの国際紛争 第13回：李伯重『銃と帳簿』（2017）の検討（4）：明朝はグローバル化対応に失敗したのか？ 第14回：受講生の研究との連関についてのプレゼンテーション（1） 第15回：受講生の研究との連関についてのプレゼンテーション（2） 期末試験の有無 なし					
(4)成績評価の方法	授業中の討論を通じて理解度を測り（20％）、自分の主張をどれだけ客観的に行っているか（20％）、他の人の理解を得られる論理的な発言か（20％）をみる。また、プレゼンテーションの内容がどれだけ客観的、論理的であるか（20％）、理解し組み上がっているか（20％）を総合的に判断する。					
(5)成績評価の基準	理解度：テキスト内容・自らのプレゼン内容などを概ね把握できていれば「その水準にある」とし、内容をふまえてさらに踏み込んだ発言があれば「卓越している」と評価する。 客観性：自らの主張に際して、三人称を用い、感覚的な表現を排して、一般化が可能な論理を用いることができていれば「その水準にある」と評価する。 論理性：自らの主張に際して、破綻なく議論を組み立てられていれば「その水準にある」と評価する。					
(6)事前事後学習の内容	テキストの自主的な読み込みが必要。担当箇所は分けず、全て目を通した状態での授業への参加を求める。					
(7)履修上の注意	英語、中国語、日本語の読解能力を必須とする。プレゼンテーションを行う際の言語は英語、中国語、日本語のどれでも構わない。					
(8)質問、相談への対応	toyooka@shinshu-u.ac.jpへ連絡の上、アポイントメントをとること。					
【教科書】	1 Tagliacozzo, Eric, and Chang. Chinese Circulations: Capital, Commodities, and Networks in Southeast Asia. Durham: Duke University Press, 2011. 2 村上衛『海の近代中国：福建人の活動とイギリス・清朝』名古屋大学出版会、2013年 3 李伯重『火槍と帳簿：早期経済全球化時代的中国と東亜世界』北京：三聯書店、2017年					
【参考書】	授業中に指示する。					